

新宮町の児童生徒の体力等の実態（全国）

1 調査の目的

- (1) 本町が全国的な状況や県の状況との関係において子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、この取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (2) 本町児童生徒の体力等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査の対象とする児童生徒

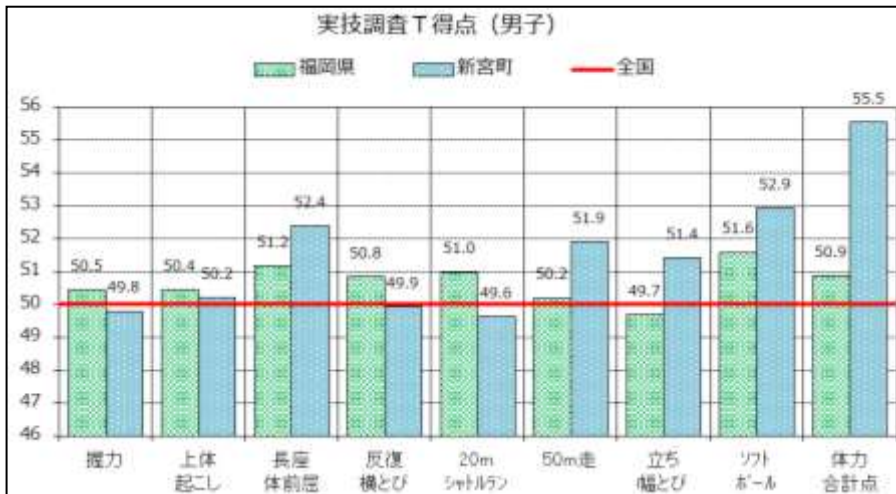
- (1) 小学校調査 小学校第5学年
(2) 中学校調査 中学校第2学年

3 調査事項

- (1) 児童生徒・・・ア 実技に関する調査
握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン【中学校は持久走（男子1500m、女子1000m）との選択可】、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ【中学校はハンドボール投げ】
イ 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等）
- (2) 学校・・・質問紙調査（子どもの体力の向上に係る学校の取組等）
- (3) 教育委員会・・・質問紙調査（子どもの体力の向上に係る施策等）

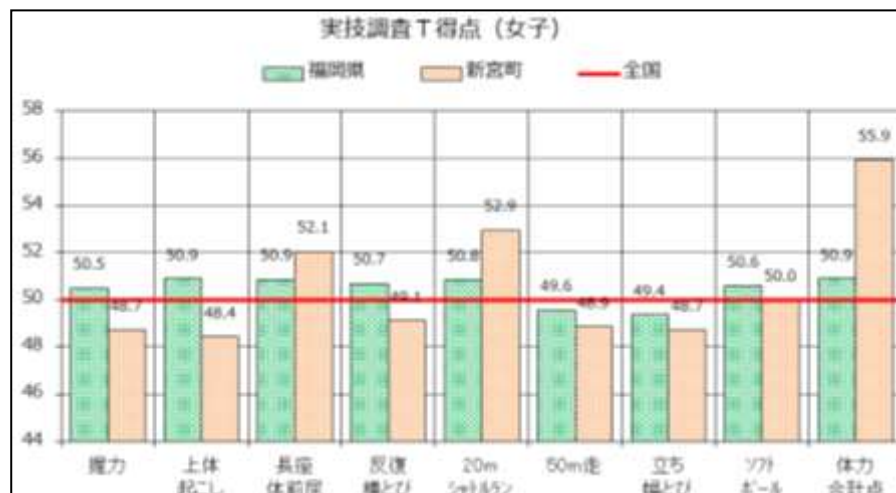
4. 体力・運動能力の調査結果の概要

(1) 小学校の実技調査状況について



小学校男子の平均値について、体力合計点では、全国+5.5、県+4.6となっている。

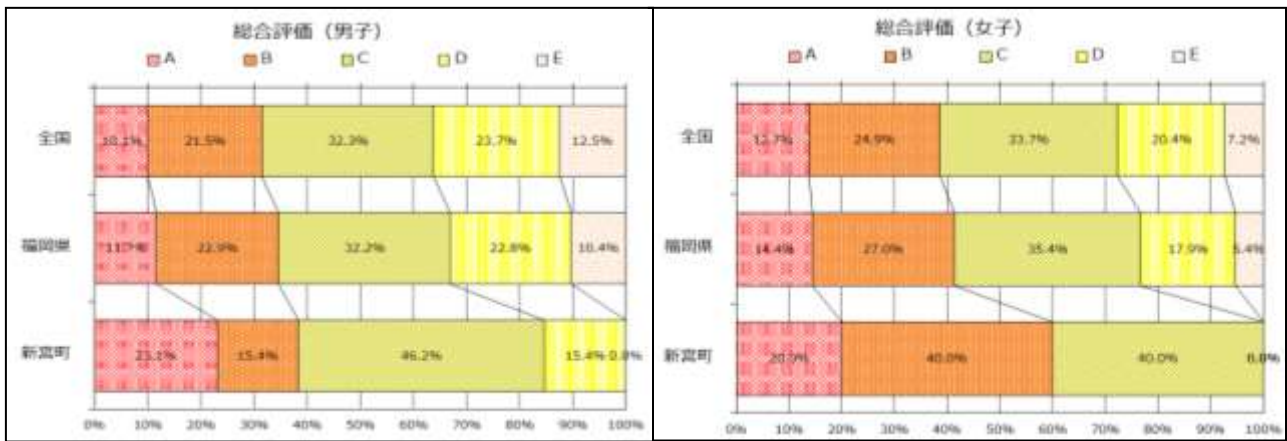
全8種目中、全国平均を上回っているのは5種目、県平均を上回っているのは、長座体前屈、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げの4種目である。



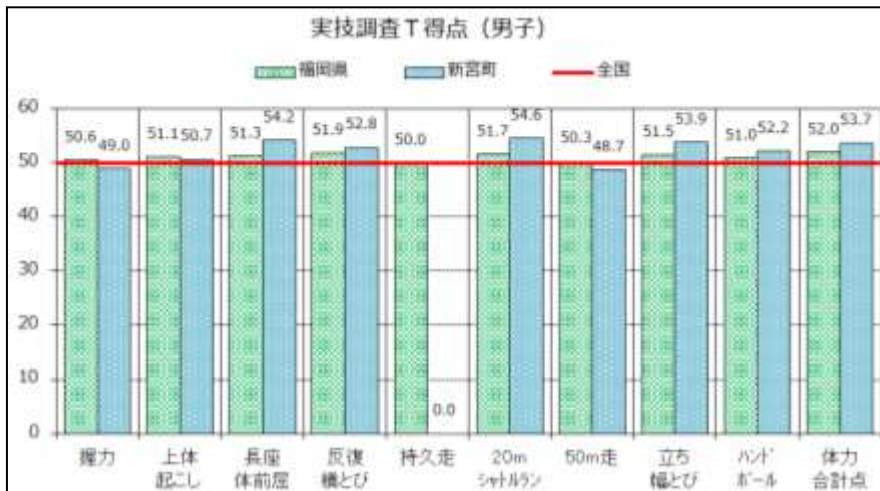
小学校女子の平均値について、体力合計点では、全国+5.9、県+5.0となっている。

全8種目中、全国平均を同等及び上回っているのは5種目、県平均を上回っているのは、長座体前屈、20mシャトルランの2種目である。

総合評価について、A層男子：県+11.4、A層女子：県+5.6、D層男子：県-7.4、新宮町D層女子は0%である。

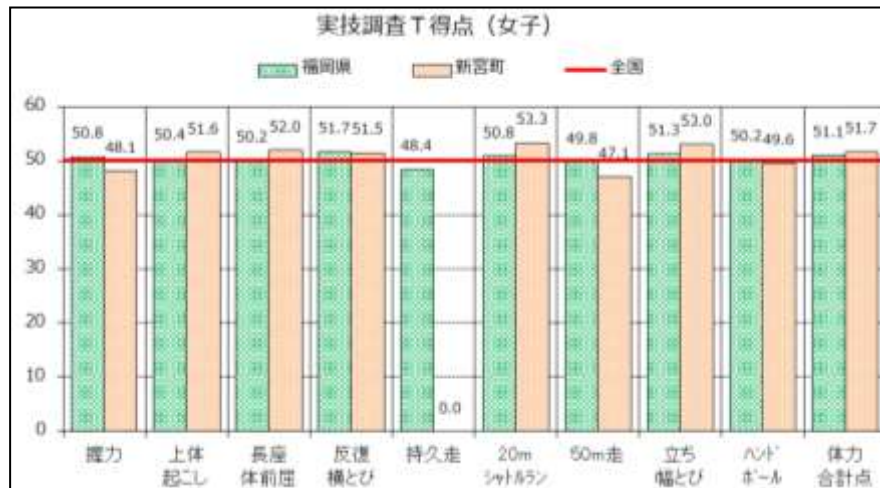


(2) 中学校の実技調査状況について



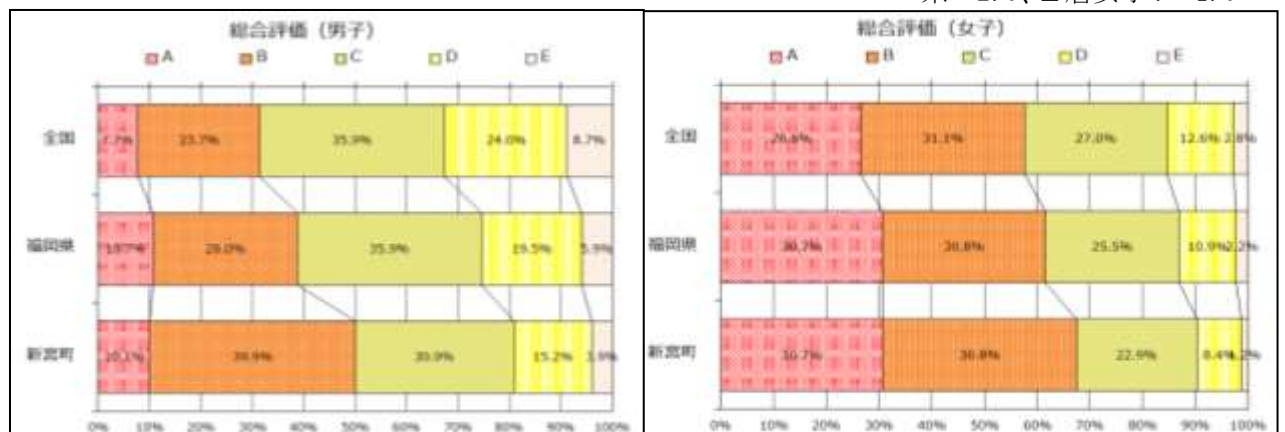
中学校男子の平均値について、体力合計点では、全国+3.7、県+1.7となっている。

全8種目中、全国平均を上回っているのは6種目、県平均を上回っているのは、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、立ち幅跳び、ハンドボール投げの5種目である。



中学校女子の平均値について、体力合計点では、全国+1.7、県+0.6となっている。

全8種目中、全国平均を上回っているのは5種目、県平均を上回っているのは、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、立ち幅跳びの4種目である。



総合評価について、A層男子：県-0.6、A層女子：県同等、E層男子：県-2.0、E層女子：-1.0

(3) 1週間の総運動時間について

【小学校】



【中学校】



新潟市の児童生徒の1週間における総運動時間について、小学校については全国や県と比較して最も大きな差が見られるのは、男子420分以上の項目で-3.3%である。中学校について、全国や県と比較して最も大きな差が見られるのは、女子420分以上の項目で+5.4%である。

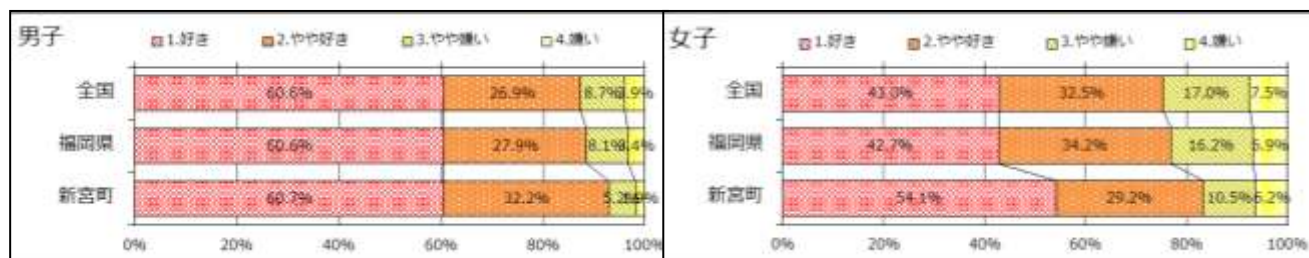
(4) 児童生徒質問紙集計結果について

①運動（体を動かさず遊びをふくむ）やスポーツをすることが好きですか。

【小学校】



【中学校】



全国や県との比較において、大きな差が見られるのは、中学校女子の「好き」という回答が+11.4%である。しかし小学校女子の「嫌い」という回答については、県比較で+1.9%である。

○「好き」または「やや好き」と回答した児童生徒の理由は次のようである。

- 小学校男子
 - ①友達や仲間と一緒に活動できるから 52.4%
 - ②体を動かすとすっきりした気分になるから 51.2%
 - ③小学校入学以前から体を動かすことが好きだから 42.1%
- 小学校女子
 - ①友達や仲間と一緒に活動できるから 55.9%
 - ②体を動かすとすっきりした気分になれるから 48.9%
 - ③小学校入学以前から体を動かすことが好きだから 38.9%

中学校男子	①友達や仲間と一緒に活動できるから	58.8%
	②体を動かすとすっきりした気分になるから	56.7%
	③中学校入学以前から体を動かすことが好きだから	43.8%
中学校女子	①友達や仲間と一緒に活動できるから	69.0%
	②体を動かすとすっきりした気分になれるから	61.5%
	③中学校入学以前から体を動かすことが好きだから	49.4%

(9つの選択肢から当てはまるものを全て選択する。他の選択肢は、次のようである。「保健体育の授業でうまくできるから」「保健体育の授業以外の場でうまくできるから」「友達にほめられてうれしいから」「先生にほめられてうれしいから」「親にほめられてうれしいから」「その他」)
 ・「好き」または「やや好き」と回答した児童生徒の理由については、小学校中学校同じであった。

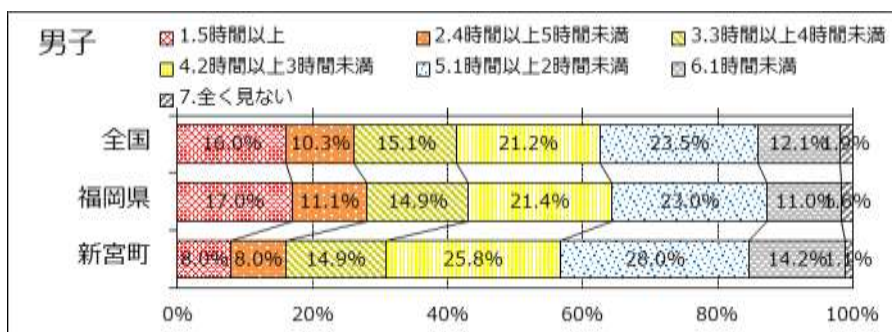
○「やや嫌い」または、「嫌い」と回答した児童生徒の理由は次のようである。

小学校男子	①けがをすることがこわいから	38.1%
	②体育の授業の場でうまくできないから	33.3%
	②小学校入学前から体を動かすことが苦手だから	33.3%
小学校女子	①小学校入学前から体を動かすことが苦手だから	58.1%
	②体育の授業でうまくできないから	39.5%
	②汗をかくことがいやだから	39.5%
中学校男子	①汗をかくことがいやだから	53.3%
	②中学校入学前から体を動かすことが苦手だから	40.0%
	③保健体育の授業でうまくできないから	13.3%
	③怪我をすることが怖いから	13.3%
中学校女子	①中学校入学前から体を動かすことが苦手だから	82.9%
	②保健体育の授業でうまくできないから	51.4%
	②怪我をすることが怖いから	25.7%

(9つの選択肢から当てはまるものを全て選択する。他の選択肢は、次のようである。「保健体育の授業でうまくできないから」「保健体育の授業以外の場でうまくできないから」「友達の前で運動するのが恥ずかしい」「運動部活動の練習がきつい」「その他」)
 ・マイナスの理由は様々であるが、小学校や中学校の入学前からの苦手意識からくるものがうかがえる。特に、中学校女子がおよそ8割であることが特徴的である。

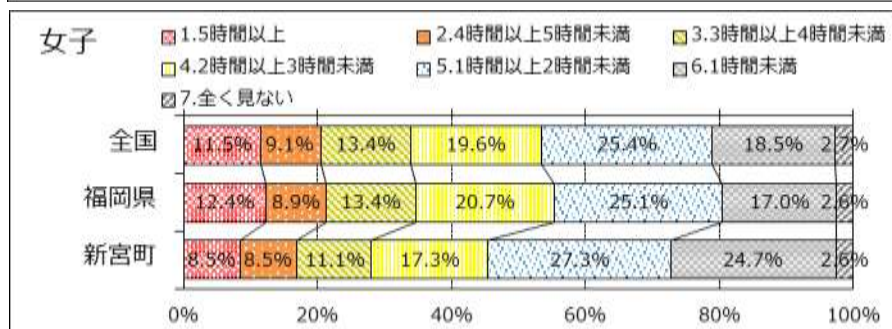
②平日について、学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。

【小学校】



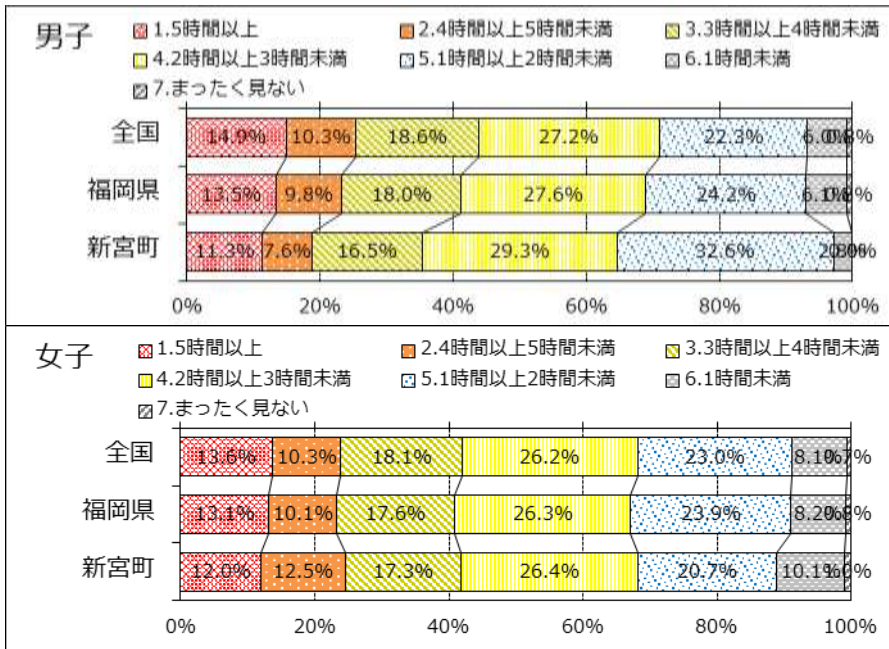
小学校男子において、1日に1.5時間以上見ている児童は、県比較で半数以下である。

1日での時間で、一番多い回答は、5.1時間以上2時間未満の28.0%である。



小学校女子において、1日に4時間以上見ている児童は県比較より少ない。また、一番多い回答は、5.1時間以上2時間未満の27.3%である。

【中学校】

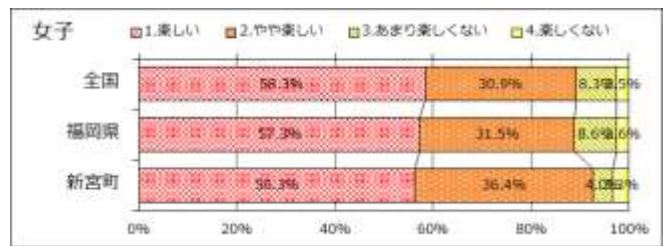
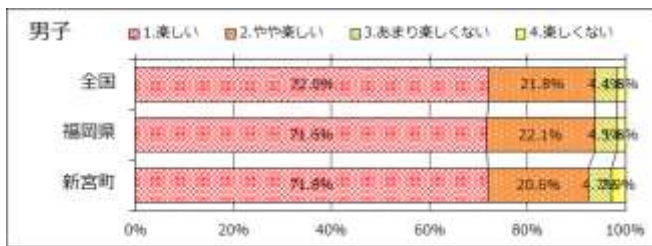


中学校男子において、県比較で差が見え始めるのは、4時間である。1日での時間で、一番多い回答は、6.1時間以上の32.6%である。

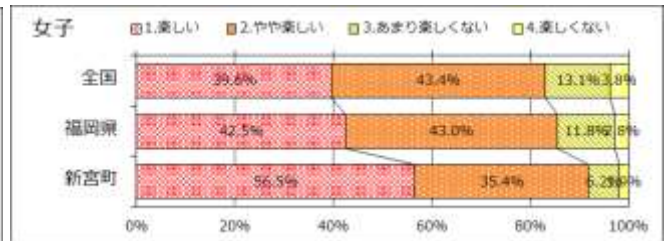
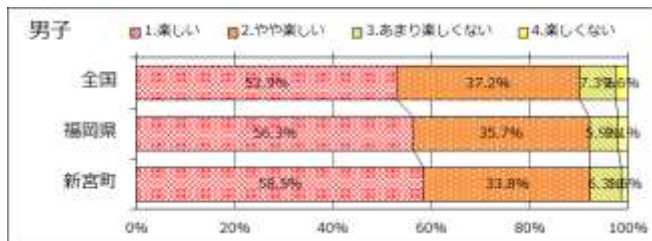
中学校女子においては、県と比較して、それぞれの時間において、大きな差は見られない。一番多い回答は、2時間以上3時間未満の26.4%である。

③ 体育の授業は楽しいですか。

【小学校】

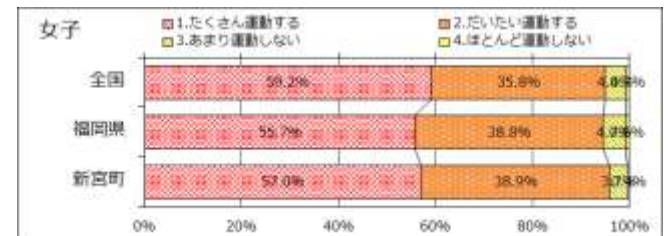
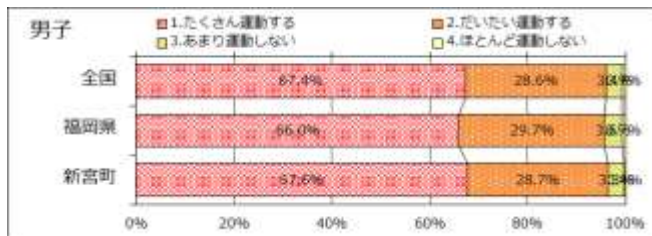


【中学校】

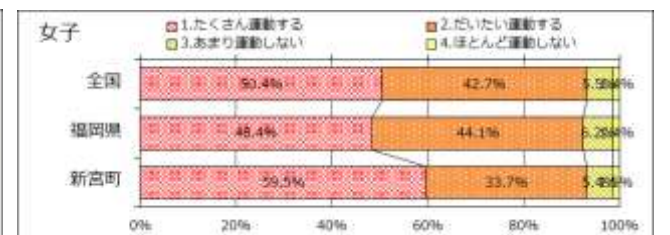
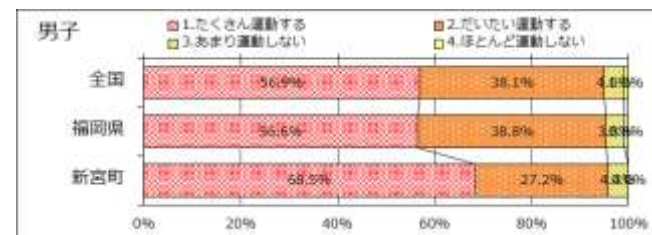


④ 体育の授業ではたくさん運動をしますか。

【小学校】



【中学校】



⑤体育の授業で、自分の動きの質が向上している（例えば、ボール投げであれば、正しいフォームでボールを投げられるようになった）ことを実感することがありますか。

【小学校】



【中学校】



体育の授業について、「楽しい」「やや楽しい」を回答している児童生徒は、7割～8割を超えている。また、運動量の確保についても実感している児童生徒が9割以上である。そして、自分の動きの質の向上について実感している児童生徒も8割以上である。

⑥これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか。

小学校男子	①友達に教えてもらった	41.6%
	②授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった	36.5%
	③授業中自分で工夫した	35.0%
小学校女子	①友達に教えてもらった	46.1%
	②先生や友達のまねをしてみた	38.0%
	③授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった	28.0%
中学校男子	①友達に教えてもらった	53.9%
	②先生や友達の真似をしてみた	46.6%
	③授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった	40.3%
中学校女子	①友達に教えてもらった	66.4%
	②先生や友達の真似をしてみた	54.8%
	③授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった	41.8%

(10の選択肢から当てはまるものを全て選択する。他の選択肢は、次のようである。)

「自分似合った場やルールが用意された」「授業中自分の動きを動画で見た」「授業外に先生に教えてもらった」「授業外に自分で練習した」「授業外に自分で本や動画を見た」「できるようになったことがない」)

- ・小中男女ともに、友達との教えあいにより、できるようになった実感を得ていることがうかがえる。また、教師のアドバイスや自分自身で真似をしたり工夫したりすることによることもわかる。人的環境を充実させている体育科の授業の充実の成果であると考えられる。場やルールの整備、本や動画の準備等、物的環境による向上を実感している回答が少ないため、今後はより1人1台端末の活用等、授業改善が必要であると考えられる。